

大山隠岐国立公園自然ふれあいイベント「海のいきものを研究しよう！in海幸の浜」

実施報告

実施日時：2023年8月17日（土）

昼の部 15時00分～17時10分

夜の部 18時30分～20時45分

場 所：隠岐の島町津戸（昼の部）、隠岐の島町都万（夜の部）

講 師：小野廣記 氏（島根大学生物資源科学部附属 生物資源教育研究センター
海洋生物科学部門 隠岐臨海実験所 助教）

参加者：15名

天 候：晴れ

内 容：大山隠岐国立公園である隠岐島の海域は、たくさんの海のいきものが生息しています。今回は、昼の部ではアマモ場のいきもの観察とスケッチ教室、夜の部ではライトトラップによるいきもの観察会を開催しました。

【実施風景】



アマモ場に住むいきものを捕まえてみよう！

海草の一種であるアマモが繁茂する場所は、多くの海のいきものの産卵・生育の場となっています。アマモ場は日本各地で減少している中、隠岐の海域では多くみられる貴重な場所です。タモ網を使って、アマモ場のいきものを採集します。小さな魚はすばしっこくて、意外と捕まえるのが難しい！



見つけたいきもの

キンセンガニ、サビハゼ、ツノモエビ、イソスジエビ、ヒメタツノオトシゴなど、約1時間でたくさんの海のいきものを見つけることができました。（写真は一部）



いきものをスケッチしてみよう！

好きないきものを1つ選んで、スケッチに挑戦！写真よりも特徴を捉えることができるスケッチは、生物研究の現場ではとても大事です。島根大学の学生さんに描き方のコツを教えもらいながら、真剣にスケッチに取り組みました！



顕微鏡を使って細部までよ〜く観察！

顕微鏡を覗いてみると、肉眼では見えない細かい模様や毛の先まで観察することができます。「こんな風になっているの?!」初めて見る顕微鏡の中の世界にびっくり！



辺りが暗くなり始めた頃から・・・

夜の海ではどんないきものが活動しているのでしょうか？ ライトトラップを仕掛けて光に集まるいきものを観察してみましょう。



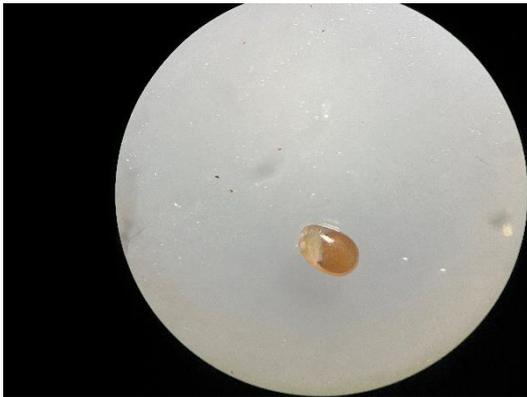
ライトアップした水槽にみんな興味津々！

ゴンズイ、メジナ、ウミヘビなどたくさんのいきものが集まりました。毒をもつ危険ないきものもいるため、注意しながら観察を楽しみました。



集まってきた大群の正体は・・・?!

ライトをめぐらして集まってきたのは「アンド
ンクラゲ」。こちらにも刺されると危険な毒をも
ついきものですが、ライトに照らされると綺
麗に見えるかも？



どんな形に見えるかな？

夜の海で青く光る発光性介形虫のウミホタル。た
くさん集まって光る様子はとても綺麗ですが、1
つ1つの個体はどのような形をしているのでし
ょうか？顕微鏡で覗いてみると、まるで米粒のよ
うな個体を観察することができました！